

50年後に思いを馳せて

黒田 朔



2024年9月22日、岸和田5教会礼拝に今年自立した阪南バイブルチャペルは初参加。1973年、エリコ計画を始めた時、50年後に5教会となって礼拝を捧げることになろうとは考えることさえしなかった。立派な会堂となった岸和田で、5つの教会からの初めての人と挨拶を交わし、礼拝を捧げながら、50年前、共にエリコ伝道に取り組み、今は天に召

された人々が心に浮かんだ。祈り、訪問に汗を流し、会堂建築のために捧げた人々である。やがて迎える50年後、この阪南バイブルチャペルから送り出される教会が共に集まり、喜びの賛美を捧げるとき、私達は天国からその有様を眺めて、「ああ、あの小さな二階建ての教会が今はこうなってくれたのか・・・」と喜び、感謝したいと思う。そのためには、今を大切に、祈り、働き、汗を流そう。共に喜び、笑い、汗を流し、祈りをささげた50年前の仲間を思い出しながら、50年先を思い描いて感謝の祈りをささげた1日でした。

こういうわけで、このように多くの証人たちが、雲のように私たちを取り巻いているのですから、私たちも、一切の重荷とまとわりつく罪を捨てて、自分の前に置かれている競走を、忍耐をもって走り続けようではありませんか。ヘブル12:1

涙とともに種を蒔く者は喜び叫びながら刈り取る。種入れを抱え泣きながら出て行く者は束を抱え喜び叫びながら帰って来る。詩126:5、6